

令和7年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	スポーツ推進事業				事業番号	008-091	
担当部署名	文化観光	局	スポーツ	部	スポーツ推進		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(7)生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現		
			有	取組の方向性	①スポーツ・運動習慣定着による健康増進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者）				
			有	現状値	23.7%(2017年度)	目標値	50.0%(2025年度)		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4		
			有	取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	健康寿命				
			有	現状値	男性：72.82年、女性：74.46年(2019年度)	目標値	男性：73.40年、女性：76.40年(2025年)		
2	関連計画			堺市スポーツ推進プラン					
3	事業開始年度			昭和 22 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠			スポーツ基本法、堺市スポーツ推進委員に関する規則					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、堺市教育スポーツ振興事業団、総合型地域スポーツクラブ、地域団体		
6	事業の対象	市民	対象数	単位
			約81万	人
7	事業の目的	ライフスタイルに応じて、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての人が生涯にわたりスポーツを身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現		
8	事業内容	○ 総合型地域スポーツクラブ ・新たなクラブの創設支援及び既存クラブの活動拡大や安定した運営体制の構築を支援することで、キーパーソンとなる人材や指導者の確保、運営ノウハウを蓄積し、地域で多様な運動・スポーツを楽しめる環境を創出する。 ○ 堺市民オリンピック ・毎年スポーツの日に市民スポーツの祭典を実施することで、市民の健康増進、体力の向上、スポーツマンシップの向上を図る。令和6年度は第50回記念大会を開催。（10月） ○ トップレベルチームとの連携 ・日本製鉄堺プレイザース、オリックス・バファローズ、セレッソ大阪等のトップレベルチームと連携し、各チームの公式戦において市民優待観戦企画を実施することで、市民がトップレベルのスポーツに触れる機会を提供する。また、総合型地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室に講師を派遣。 ○ スポーツ推進委員を通じた地域スポーツ活動の推進 ・地域のスポーツ推進の中心的存在として実技指導や助言を行っているスポーツ推進委員に各種研修や主催大会を実施することで、資質向上を図る。 ○ 運動・スポーツ習慣化事業 ・親子で参加できるwebサイトを活用した親子体力測定会 令和5年度に大阪公立大学と連携して作成した体力測定の結果をもとに、適性のあるスポーツ種目を提案する webサイト（未就学児～小学 2年生対象）に 大人向けの機能（ BMIの測定、体力年齢の提示）を追加し、親子を対象とした体力測定会を実施（ 10月、 2月） ・堺の歴史文化資源を組み合わせたピラティス、ヨガイベント 堺区ふれあいまつりにおいて堺市役所高層館21階展望ロビーでヨガ体験会を実施（11月） 大阪公立大学と連携し、はじめてのマットピラティス体験会を実施（11月・12月） 堺アルフォンス・ミュシャ館にてスポーツ×絵画をテーマにしたヨガ体験会を実施（1月） ・トップアスリートを招聘したアーバンスポーツイベント 堺区ふれあいまつりでアーバンスポーツ体験会を実施（11月） ららぽーと堺でアーバンスポーツの体験会を実施（2月）		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	（公財）堺市教育スポーツ振興事業団、堺市民オリンピック委員会、総合型地域スポーツクラブ、大阪公立大学		
10	公民連携・協働事業	総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツ活動の実施、トップレベルチームとの連携によるスポーツ教室の開催、大学と連携した子ども向け事業の実施		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	堺市民オリンピック参加者数	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	7,000	7,000	6,000	6,000
			実績値	936	5,831		
	達成率	13%	83%				
当該指標を選定した理由		市内全域を対象としてスポーツを通じた地域交流の場となっている本イベントの参加者数は地域スポーツ活動の状況を示す指標となるため（令和5年度は雨天のため一部種目のみ実施）					
目標値の設定根拠・算出方法		市の人口が減少傾向にあることを考慮し、参加者数の維持を目標とする					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	総合型地域スポーツクラブ会員数 （設立準備団体含む）	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	700	700	700	
			実績値	733	899		
	達成率	105%	128%				
当該指標を選定した理由		幅広い年代の市民が身近な地域でスポーツに親しむことができるクラブであり、会員数は習慣的に運動を行う市民が増加していることを示す指標となるため					
目標値の設定根拠・算出方法		各区1クラブの設置をめざし、安定的運営のため各クラブ100人の会員獲得を目標とする（7クラブ×100人）					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	スポーツ推進事業	事業番号	008-091
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	65,782	67,210	89,945	89,643	90,434
	財 国支出金	936	0	5,850	0	0
	源 府支出金	0	0	0	0	0
	内 市債	0	0	0	0	0
	訳 その他（日本スポーツ振興センター助成金、基金繰入金）	6,366	7,749	19,622	21,482	26,264
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	58,480	59,461	64,473	68,161	64,170
14	人件費（b）	45,100	43,100	43,000	43,000	64,800
15	年間経費（c）=(a)+(b)	110,882	110,310	132,945	132,643	155,234

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	事業費内訳	堺市教育スポーツ振興事業団・堺市スポーツ協会・堺市スポーツ少年団補	R6 決算	32,952	30,444	日本製鉄堺プレイザーズ市章等掲載料	R6 決算		4,000	4,000
			R7 予算	34,907	31,609		R7 予算		4,000	4,000
		堺市民オリンピック開催負担金	R6 決算	12,404	3,404	総合型地域スポーツクラブ推進ネットワーク堺負担金	R6 決算		1,000	1,000
			R7 予算	14,000	14,000		R7 予算		1,000	1,000
		総合型地域スポーツクラブ運営・創設支援補助金	R6 決算	6,264	0	企業版ふるさと納税を活用したスポーツチームとの連携事業【新規】	R6 決算		0	0
			R7 予算	10,368	0		R7 予算		1,000	1,000
		KIX泉州国際マラソン開催負担金	R6 決算	0	0	ワールドマスターズゲームズ2027関西開催準備負担金【新規】	R6 決算		0	0
			R7 予算	5,641	0		R7 予算		3,363	3,363
		堺市学生スポーツ競技大会出場奨励金	R6 決算	3,710	0	その他	R6 決算		29,313	29,313
			R7 予算	5,000	0		R7 予算		11,155	9,198

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 市民オリンピック参加者数	人	936	5,831
	② 上記①にかかる年間経費	千円	12,252	12,404
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	13,090	2,127
算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	○堺市民オリンピックについて、令和5年度は雨天により屋内競技のみ実施であったため単純比較はできないが、令和5年度の屋外競技参加予定者数を含めても前年度より費用対効果は高くなっている。 ○運動・スポーツ習慣化事業は、実施に際し民間事業者や大学に協力いただくことで経費を抑えることができたため費用対効果は高い。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	○ 令和6年度の堺市民オリンピックは全競技を実施し、参加者は5,831人であった。市内全校区が一堂に会し、地域交流や日頃のスポーツ活動の成果を発表する機会となる堺市民オリンピックは、市民の日頃のスポーツ活動のモチベーションになりうるものであり、スポーツ活動の習慣化に寄与した。 ○ トップレベルチームとの連携では、ホームゲームを行う日本製鉄堺プレイザーズと連携し、プレシーズンマッチで2,000人を無料招待し、併せて新たに同時開催イベントとして健康増進関連ブースを出展するなど、当日来館された約2,700人の方にスポーツや大浜だいしんアリーナと周辺地域の魅力を知っていただくきっかけとなった。 ○ 運動・スポーツ習慣化事業では、スポーツと文化をかけ合わせることやアーバンスポーツなどの新しいスポーツの体験機会を提供する事業を行ったことで、合計1,360名が参加した。実施後に行ったアンケートでは、継続して運動することに興味関心をもつ方が多く、運動機会の創出と習慣化のきっかけとすることができた。
----	---